

平成30年第3回 肝付町議会一般質問

順位	質問者	答弁者	用件(要旨)
1	宮後 竜一	町長 町長	<p>○肝付町の移住・定住促進の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口増に取組んできた今までの実績は。 ・空き家バンク、お試し住宅の成果は。 ・定住促進住宅を設置し、町外からの定住者を増やす考えはないか。 ・定住促進住宅の無償譲渡時の規定について。 <p>○養護老人ホーム国見園の運営の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国見園の民間移管に対しての町の考え方を伺いたい。 ・国見園あり方検討委員会の考え方は。 ・国見園の今後について伺いたい。
2	進藤 鈴子	町長 町長	<p>○定住促進対策としての誕生祝い金について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生祝い金においては、隣接町で様々な取り組みがされています。特に南大隅町においては、第一子5万円、第二子10万円、第三子50万円、第四子100万円とかなりの高額で出生率も高いようです。 2019年10月から全国的に保育料無償化を全面実施されるようです。隣接町とのバランスを考え、肝付町も少子高齢化の脱却を図る施策一貫として、誕生祝い金制度を実施してはどうか。 <p>○県道539号線（上之原～JAガソリンスタンド間）の並木通りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この通りは肝付町の中心市街地である。 県の維持管理で予算に応じた作業内容が年に2回ほどの剪定や除草がされるが、根強い雑草は瞬く間に生い茂り、景観を損ね肝付町は汚いイメージである。 また、通学路でもあり繁茂した背高の雑草が学童達の視野をも狭めたり、ドライバーにおいても、子供達や電動カーなどに気付きにくく、交通事故も懸念される。早急な対策を求める。
3	坂口 喜作	町長 町長 町長	<p>○障害者の雇用状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の雇用現状と今後の対応について問う。 <p>○公共施設のスロープ及び洋式トイレの設置状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度までに地区公民館のスロープの設置を計画しているが進捗はどうなっているか。 ・庁舎を始めとして公共施設の洋式トイレの設置はどの様に進めていくのか。 <p>○増大する有害鳥獣被害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣の被害状況を把握しているのか。 ・その具体的な対策は進んでいるのか。

4	前田 美春	町 長 町 長	<ul style="list-style-type: none"> ○介護保険で支給されるサービスについて <ul style="list-style-type: none"> ・特定福祉用具販売事業の利用者一旦全額負担から受領委任払い制度への改正について。 ○多目的畜産研修交流センター建設について <ul style="list-style-type: none"> ・本町の肉用牛の名声を高める審査場の整備。 ・自然災害に対する人畜を守る施設の整備。 ・災害時、畜産農家の病気、緊急時、牛の受入施設（ミニキャトル）の整備。 ・畜産農家、農業視察等の研修施設の整備。 ・交流を深め、健康促進などの多目的施設の整備。
5	富永 洋一	町 長 町 長	<ul style="list-style-type: none"> ○畑かん作物について <ul style="list-style-type: none"> ・導入にあたり、どのような検討をされたのか。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 対象品目を決めた根拠。 (2) 作物の販売先は生産者で確保となっている。 (3) 作物によっては選果場の必要性もあるが、どうするのか。 (4) 反収及び先進地の状況等の把握はなされているか。 ○住宅密集地の農地及び空き地の管理について <ul style="list-style-type: none"> ・一部の地域から苦情が寄せられているが、どう対応しているか。 ・冬場、火災等の恐れもある。 ・関係機関と一体となった対応をすべきではないか。
6	益山 二郎	町 長 町 長	<ul style="list-style-type: none"> ○新富マルシェの運営について問う <ul style="list-style-type: none"> ・新富マルシェが本年8月10日で閉店した。事業者は約2年間頑張ってこられたと認識している。今回の閉店に関し、町はどのように考えているのか。 ・行政とマルシェの関わり合いはどのようにになっているのか。 ・事業当初は、新富コミュニティーが主体となり、経営するとの話であったが、その後どうなったのか。 ・産業創出課のマルシェに関する実態は。 超勤の総時間と人件費の総額はどうなっているのか。また、これらにより得られたデータ等は何を目的とし、何に使われたのか、その結果と実績は。 ・産業創出課の果たした役割には、どのようなものがあったのか。 ・マルシェに関する補助金は、開店準備前を含め、どの程度になるのか。 ・配送用の車両を補助しているが、補助に至るまでの経緯と現在までの運用状況を問う。また、今後はどのようにこの車を使うのか。補助の目的と差異は出てこないのか。 ・その他新富マルシェについて問う。 ○商店街の活性化について <ul style="list-style-type: none"> ・大きな期待を込め後押ししてきた新富マルシェが閉店した。町は本事例を教訓として、新たな活性化の施策を考えるべきである。今回の事例で得られた教訓と新たな施策を問う。

7	吉原 光	町 長	<p>○側溝の衛生管理について</p> <ul style="list-style-type: none">・町の側溝は衛生的に管理されているのか。 <p>内之浦地区においては、側溝の臭いや蚊、コバエの発生があり、不衛生な状態である。市街地通水や側溝の泥上げ作業の衛生化は図れないのか。</p>
---	------	-----	---